

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成28年10月6日(2016.10.6)

【公表番号】特表2015-530626(P2015-530626A)

【公表日】平成27年10月15日(2015.10.15)

【年通号数】公開・登録公報2015-064

【出願番号】特願2015-535668(P2015-535668)

【国際特許分類】

G 0 2 B 6/26 (2006.01)

G 0 2 B 6/40 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 6/26 3 0 1

G 0 2 B 6/40

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月17日(2016.8.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の光導波路を受容して、該複数の光導波路が恒久的に取り付けられる第 1 の取り付け領域を備えるハウジングと、

該ハウジングに配設され、かつ該ハウジング内で移動するように構成された光結合部と、を備えるコネクタであって、

前記光結合部は、

該第 1 の取り付け領域において受容され、恒久的に取り付けられた複数の光導波路を受容して、該複数の光導波路が恒久的に取り付けられる第 2 の取り付け領域と、

複数の曲面と、を備え、

各曲面が、該第 1 及び第 2 の取り付け領域において受容され、恒久的に取り付けられた複数の光導波路における異なる光導波路に対応し、該光導波路が第 1 のコア直径を有し、該光導波路からの光が該コネクタの嵌合方向とは異なる出射方向に沿って該コネクタから出射するように、該曲面が、該光導波路からの光の発散を変化させるように構成され、該出射光が、該第 1 のコア直径より大きな第 2 の直径を有し、該コネクタが嵌合方向に嵌合コネクタと嵌合するとき、該光結合部が回転して該光導波路を曲げさせるように該コネクタが構成される、コネクタ。

【請求項 2】

前記第 1 及び第 2 の取り付け領域に受容され、恒久的に取り付けられた光導波路が、前記 2 つの取り付け領域間で曲げられ、前記コネクタが嵌合コネクタと嵌合するとき、前記光結合部が回転して該光導波路を更に曲げさせる、請求項 1 に記載のコネクタ。

【請求項 3】

前記コネクタが嵌合コネクタと嵌合するとき、前記光学結合部における前記それぞれの第 2 の取り付け領域に取り付けられた、前記 2 つのコネクタの前記光導波路のセグメントが、同一の平面内に位置する、請求項 1 に記載のコネクタ。

【請求項 4】

前記光結合部が、光方向転換部材を、更に備え、該光方向転換部材が、

前記第 1 及び第 2 の取り付け領域において受容され、恒久的に取り付けられた光導波路

からの入力光を受光する入力面と、

入力方向に該光方向転換部材の該入力面からの光を受光し、方向転換された異なる方向に該受光された光を方向転換する光方向転換面と、

該光方向転換面からの光を受光し、出力方向に出力光として該受光された光を伝送する出力面と、を備える、請求項 1 に記載のコネクター。

【請求項 5】

無性コネクターである、請求項 1 に記載のコネクター。